

仙台宮城
デスティネーションキャンペーンに向けて⑤

無栗沼めぐりでは、田尻グリーンツーリズム委員会と共同で、仙台・宮城DCプレキャンペーンに合わせ、十月二十七日から十二月二十二日まで毎週土曜日、日帰りでマガンのねぐら入りを観察するバスツアーをしています。

また、ツアーが発着するJR田尻駅の待合室の一角に臨時の無栗沼案内コーナーを開設し、ガイドマップやポスターの展示と観光パンフレットの配布も始めました。

今までは、無栗沼へ車で来てもらうことを前提に紹介していましたが、今回バスツアーはJRを利用してきますので、車で来られない人も訪れやすくなったと思います。

こうしたDCの取り組みをしているうちに、市内の各地域で活動している人とのつながりが出来てきました。先日、大崎商工会三本木支所の企画で、鹿

島台の互市に寄ってから無栗沼でマガンを見て鳴子温泉に行くという観光ツアーがありました。

こうした横のつながりが出来たことや、今まで観光はあまり関係ないと思っていた人たちも連帯感が生まれたことは、DCが終わっても生かされると思います。

無栗沼は、十年前までは地元の人にもあまり知られていない場所でしたが、今ではいろいろなメディアに取り上げられ、多くの人を訪れるようになりました。

何十万人も訪れるような観光地ではありませんが、ここでマガンの飛び立ちや、ねぐら入りを見た人は、必ずと言っていいほどまた訪れるようになります。

ここには、人を引き付けて離さない自然の営みがあるからです。だからといって無栗沼は、人が踏み入れることができないような絶境の地にあるのではなく、普通に人が生活している田園地帯の中にあります。まさに人と自然が共生しているすばらしい地なのです。

七十年前には東京にもガンが飛んでいて、無栗沼と同じ光景が繰り返されていました。

無栗沼の感動を味わった人が増えれば、また、日本の各地でそんな光景が見られるようになるかも知れません。

無栗沼で感動の瞬間を



田尻地域実行委員会
実行委員 戸島 潤さん
(無栗沼めぐり)

島台の互市に寄ってから無栗沼でマガンを見て鳴子温泉に行くという観光ツアーがありました。

こうした横のつながりが出来たことや、今まで観光はあまり関係ないと思っていた人たちも連帯感が生まれたことは、DCが終わっても生かされると思います。

無栗沼は、十年前までは地元の人にもあまり知られていない場所でしたが、今ではいろいろなメディアに取り上げられ、多くの人を訪れるようになりました。

何十万人も訪れるような観光地ではありませんが、ここでマガンの飛び立ちや、ねぐら入りを見た人は、必ずと言っていいほどまた訪れるようになります。

ここには、人を引き付けて離さない自然の営みがあるからです。だからといって無栗沼は、人が踏み入れることができないような絶境の地にあるのではなく、普通に人が生活している田園地帯の中にあります。まさに人と自然が共生しているすばらしい地なのです。

七十年前には東京にもガンが飛んでいて、無栗沼と同じ光景が繰り返されていました。

無栗沼の感動を味わった人が増えれば、また、日本の各地でそんな光景が見られるようになるかも知れません。

いよいよ来春開校 ～県北初の単位制高校～
宮城県田尻さくら高等学校

来春4月、新しい教育システムを取り入れた2部制単位制の「田尻さくら高等学校」が開校します。

授業は、1校時から4校時がI部、5・6校時がI部とII部の併修時間、7校時から10校時がII部という時間割で進められます。通常の夜間定時制高校とは違い、全日制・定時制の枠を超えた新しい学校です。

高等学校では各学年で定められた科目の単位を修得することで次の学年に進級するいわゆる学年制をとるのが一般的ですが、単位制には進級がなく、I部、II部とも74単位以上修得すれば3年間(3修)で卒業できます。

高等学校の必修科目以外はずべて

選択科目になり、自分の進路や興味関心に応じて科目を選択できるのも単位制高校の大きな魅力です。開講科目は、商業・情報・福祉関係のほか、大学進学希望者に対しても受験に対応した科目が幅広く選択できるようになっています。

また、地域に開かれた学校を目指し、聴講生として地域の人たちが来校できるように、近い将来講座を開講する予定です。

challenge(夢に挑戦)、career-up(生きる力を育てる)、communicate(地域と共に)の3Cをキャッチフレーズとして、自ら進んで学習活動や課外活動に積極的に取り組む生徒を求めています。



学校見学会を開催します

学校のシステムが大きく変わることから、田尻高校の敷地内に新校舎が建設されました。新校舎はバリアフリーで、介護実習室やコンピュータ実習室、講堂を設置しています。新しく完成した新校舎のお披露目を兼ねた学校見学会を12月22日(土)、午前10時から正午まで行います。田尻さくら高校に興味のある中学生と保護者の皆さんはもとより、地域の皆さんも、ぜひ、完成した新校舎を見に来てください。

田尻さくら高等学校開設準備室
(田尻高等学校内) ☎ 39-1051

皆さんが安心して医療を受けるためには、いずれかの健康保険に加入しなければなりません。

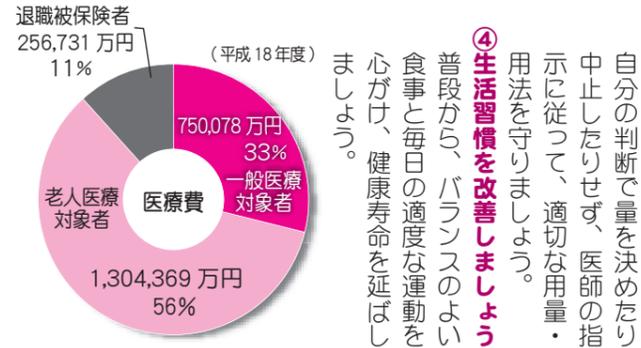
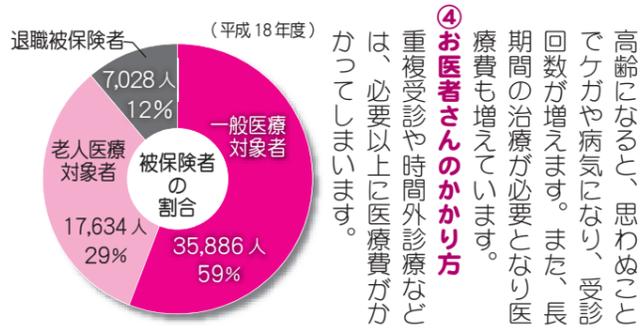
国民健康保険(国保)は職場の保険などに加入していない人の医療を保障する制度で、加入者の国保税と公費を収入源としています。

その制度で使われる医療費は年々増加傾向にあり、今後も医療費が増え続けてしまうと、医療制度が成り立たなくなることができなくなってしまうかもしれません。また、その財源である国保税が上がることもつなあります。

上手な受診で
医療費の節約を!

皆さんがお医者さんにかかるときのちょっとした心がけや、普段の健康づくりで医療費を節約することができます。医療費をより有効に使えるように皆さんも考えてみましょう。

☎ 23-6051



- ①生活習慣病の増加
日頃の生活習慣が大きく関係している生活習慣病(高血圧・心臓病・糖尿病等)の増加により、治療にかかる期間が長くなり医療費が増えています。
- ②医療技術の進歩による医療費の高額化
新しい医療機器や薬などが開発され、これまで治療が難しかった病気も治すことができるようになった反面、治療にかかる費用も増えています。
- ③社会全体の高齢化
高齢になると、思わぬことでケガや病気になる、受診回数が増えます。また、長期間の治療が必要となり医療費も増えています。
- ④お医者さんのかかり方
重複受診や時間外診療などは、必要以上に医療費がかかってしまいます。
- ①重複受診を避けましょう
医療機関を変えることは、初診扱いとなるので、再び初診料がかかります。同じような検査や処置が繰り返されることあります。かかりつけ医を決めておけば、病歴を把握して診察してもらえます。
- ②時間外診療を避けましょう
診療時間外に診療を受ける別料金がかかります。日中我慢して、夜受診することにならないよう、時間内に受診しましょう。
- ③薬は上手に飲みましょう
自分の判断で量を決めたり中止したりせず、医師の指示に従って、適切な用量・用法を守りましょう。
- ④生活習慣を改善しましょう
普段から、バランスの良い食事と毎日の適度な運動を心がけ、健康寿命を延ばしましょう。

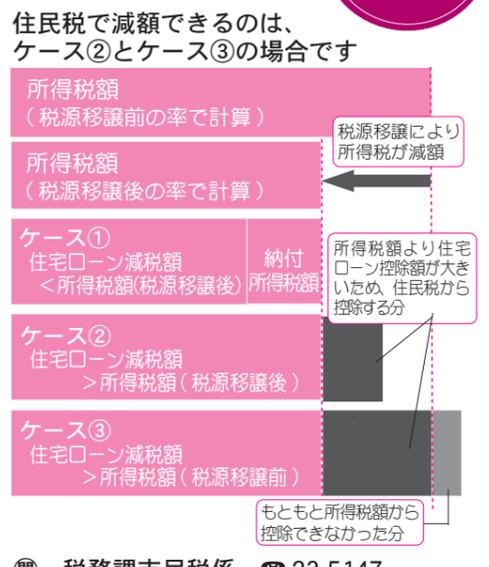
所得税から住宅ローン控除額を引ききれなかった皆さんへ
住宅借入金等特別税額控除申告をお忘れなく!

申告期限
平成20年
3月17日(月)

控除しきれなかった分は住民税(所得割)から控除されます
平成11年から平成18年までに入居し、住宅ローン控除の適用を受けている人で、今回の税源移譲により平成19年以降の所得税における住宅ローン控除による減税額が減ってしまう場合には、その分を翌年度(平成20年度以降)の住民税(所得割)から控除できます。

手続き 平成20年3月17日(月)までに「市町村民税・道府県民税住宅借入金等特別税額控除申告書」を提出してください(申告書は市役所税務課、各総合支所市民税務課および古川税務署に用意しています)。
所得税の確定申告をする人: 確定申告の際に税務署(または市役所)に提出
所得税の確定申告をしない人: 源泉徴収票を添付して市役所に提出(住宅借入金等の年末残高を控えてきてください)

平成19年に所得が減って所得税が課税されなくなった人で、税源移譲による所得税負担の軽減の影響を受けられず、平成19年度の住民税の増額の影響のみを受ける人は、住民税の減額申告(申告期間:平成20年7月1日~31日)を行うことで既に納付済の平成19年度分の住民税からの還付を受けることができます。詳細は広報おおさき6月号でお知らせする予定です。



☎ 23-5147